

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数が増加している。	
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客の買物内容を見ると、気温が不安定なためシャツに重ねるカーディガンやベスト等との2点買いが非常に多くなっており、前年に比べて商品の動きが良い。前年実績もクリアできる見込みである。	
	やや良く なっている	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・今後ますます衰退が予想される据え置きビデオやPHSを除き、今月はすべての商品で前年同月比で2けたの伸びとなった。	
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・ハイブリッド車の新発売の影響もあり、土、日曜日に開催したイベントへの来場者数が増加し、販売量も好調に推移している。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・長期金利が上がるに伴い、住宅ローン金利の上昇傾向が続くと判断した客からの住宅販売量が増加している。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新企画商品に対する反応が良く、今月に入って受注が増加した。金利の上昇傾向をみた客の駆け込みも影響している。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・来店客の様子をみても従来と変わらない。
			百貨店（売場主任）	お客様の様子	・9月上旬から下旬にかけて残暑が厳しかったため、半袖物の晩夏商品やカットソーなどしか動かなかった。
			スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は微増傾向にあるが、客単価、一品単価はなかなか伸びない。買上点数はわずかながら増加しているが、客が多く購入するのは単価の安い商品である。
			スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が上がらない。
			スーパー（総務担当）	販売量の動き	・9月前半の残暑の影響で、秋物商品の出足が例年に比べて良くない。
			スーパー（営業担当）	単価の動き	・月末が近づくと、大手量販店をはじめとしてセールが繰り返されるため、1品単価は下がり、客がそれに慣れることで、更に下がっていく。
			コンビニ（経営者）	それ以外	・天候の良い日のおにぎりや寒い日のめん類などは本来もっと売れるはずであったが、今月はそれほど売れなかった。
			家電量販店（店長）	お客様の様子	・季節の変わり目の時期は客の購買行動は相変わらず消極的である。
			乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・8、9月に発売された新車の効果は多少あるが、それ以外の車を含めた全体的な波及効果はみえない。
乗用車販売店（営業担当）	単価の動き		・100万円前後の車はますます堅調な動きであるが、200万円超の車の動きは非常に鈍い。		
住関連専門店（店員）	販売量の動き		・受注件数は全体で前年比93.4%である。2、3か月前と比べてホームファッションの動きが活発になってきた。		
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き		・個人の慶弔による利用だけが好調である。法人利用の下げ止まりは依然としてみられず、各店とも苦戦を強いられている。		
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き		・ディナーショーのチケットの完売により、一般宴会は前年同月を上回るが、婚礼宴会は件数の減少に加え、1件当たり売上高が落ちているため大きく下回る。全体でも前年を大きく下回る見込みである。		
旅行代理店（従業員）	お客様の様子		・添乗員として客の様子をみると、客の土産の買い方は従来と変わっていない。		
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・昨年大河ドラマの反動で来客数が前年同月比で2けたの減少となっている。主な原因は団体客の減少である。			
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・展示会などへの来場者数が少しずつ増加している。			
やや悪く なっている	スーパー（店長）	単価の動き	・客の低価格志向が依然続いており、買上品への吟味が一層厳しくなっている。また、バーゲンになるまで待つ傾向が依然根強い。		

		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・9月は秋物の本格的な立ち上がり時期であるが、残暑で出鼻をくじかれ、これが後半まで尾を引き、来客数が低迷している。
		乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・中古車の販売台数は前年同月をかなり上回る状況が続いているが、新車は落ち込んでいる。10年以上経過した車検時期に、従来なら同格の新車に買い換えていた人が、中古車で我慢するというケースが多い。
		その他専門店 [酒](経営者)	来客数の動き	・土、日曜日の来客数が以前に比べて大幅に減少している。
		都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・9月は地元の大イベントや休日集中による特殊要因があったため、宿泊部門の単価は上昇しているが、単価の低下傾向は根強い。また、レストラン部門や宴会部門も格安プランが多く、単価は低下している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・地元で大きなイベントもなく、客の節約ムードも依然強い。駅や歓楽街へは家族によるマイカーの送迎が多くなり、また、夜の街へはマイカーで出かけ、帰宅は代行運転にするなど、タクシーの利用はますます悪化傾向にある。
		競輪場(職員)	来客数の動き	・今月はビッグレースが開催されたにもかかわらず、来場者数は日ごとと変わらなかった。
		設計事務所(職員)	それ以外	・引き合い件数は減少しており、その上マンションなどの企画案件はあるものの、なかなか具体化しない。
	悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の人通りが少ないのが目立つ。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・買上客数は前年同月の73%で、過去にないくらい厳しい。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・売上が前年に比べて減少しているだけでなく、商店街の通行量、客単価も落ちている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・例年あまり良くない9月であるが、今年は75%程度と悪い。中旬までは更に悪く、5割程度で推移していた。経理事務所の話では、夏のボーナスがゼロという会社も多かったという。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・団体の来場者数と件数が減少している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・6月以降、設備の稼働を上げるため、客先から修理や部品についての要求が前年比3~5割増加している。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・ADSL、光ファイバーなどのブロードバンド商品の伸びが上向きになっている。
		新聞販売店[広告](従業員)	受注量や販売量の動き	・折込チラシの取扱量が増加している。
		司法書士	取引先の様子	・長い間処分ができなかった物件が売れるなど、不動産取引件数の増加がみられる。
	変わらない	食料品製造業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・同じ商品の販売価格が下がっており、販売量も若干減少傾向である。競合他社でも前年比マイナスの月が多く、厳しいと聞いている。
		繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・全体的に悪いなかで、スポーツ関係、自動車関係は比較的安定している。
		化学工業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・価格見積の依頼は増えているが、数社の競争見積となっているため成約に至らない。
		精密機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・世の中が少し良くなったといわれている中で、眼鏡業界では依然として小売販売額の前年割れが続いており、悪いまま変わっていない。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・官庁工事、民間工事ともに相変わらずダンピングが横行している。また、下請の受注物件も小型化し、ほとんどが利益の出ない悪い状態が続いている。
		輸送業(配車担当)	取引先の様子	・価格は下がったが、荷量が多少増加した。
	やや悪く なっている	電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて量的にはあまり落ちていないが、中国を始めとした海外との競争が激しくなり、価格的にはかなり下がっている。
	悪く なっている	建設業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・見積参加物件はやや増加傾向にあるが、依然として価格競争が激烈で、状況はますます悪い。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-

やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・サッシメーカーや大手のハウスメーカーからの求人が増加している。
	求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・アルバイト、パートだけでなく、正社員の求人も増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の増加傾向が続き、求職者は減少傾向である。有効求人倍率も改善傾向にある。
変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の新規求人数の5割がサービス業である。このサービス業のうち、派遣や請負の占める割合は約2割と前月に比べて増加しており、まだ不安定な雇用が続いている。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数がやや減少している。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・9月の売上は前年同月比で10%あまり減少している。
悪くなっている	-	-	-